

理化学研究所寄附金 年次報告

2021年度

BRUKER



理化学研究所

1.ごあいさつ

理研は、1917年の発足時から百年余り、誰もが自由に遠慮なく討論し合える理想的な研究環境を「理研精神」として受け継ぎ、「世界のRIKEN」として多くの研究を積み重ねて参りました。

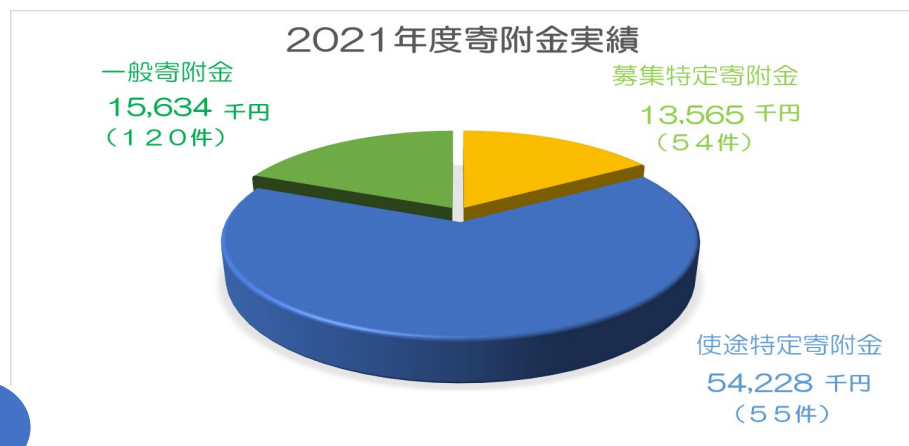
現在、そして未来においても、理研は、研究者が自ら「探究したい」と思うことと、未来の人々が「必要だ」と思うことが自然に重なる場となること、科学と社会の相互の信頼と繋がりを深める研究を行う場となることを目指しています。

みなさまから賜りましたご支援は、みなさまと理研を繋ぐ大切な「絆」として、無から有を生み出す知の創造のために、そして地球と人類の未来の成長をもたらす光となる活動のために、大切に使用させていただきます。今後とも当研究所の活動にご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

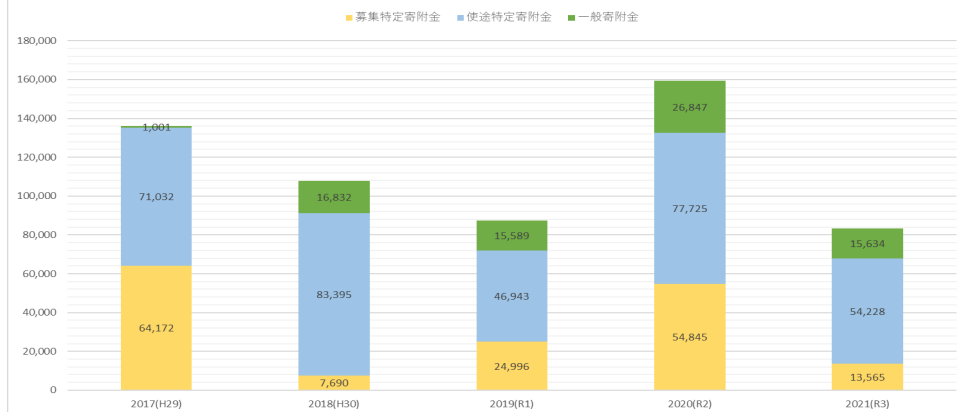


2.寄附金の実績

令和3年度も多くの方々から、総額約8千3百万円のご支援をいただきました。ありがとうございました。



理研寄附金の推移



区 分	2017(H29)		2018(H30)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
募集特定寄附金	254	64,172	37	7,690	380	24,996	811	54,845	54	13,565
使途特定寄附金	60	71,032	60	83,395	54	46,943	62	77,725	55	54,228
一般寄附金	9	1,001	116	16,832	124	15,589	140	26,847	120	15,634
合 計	323	136,205	213	107,918	558	87,528	1,013	159,417	229	83,428

2021年度理研寄附金の主な使い道

★募集特定寄附金

- SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援
- 次世代器官再生医療に向けた基礎・応用化研究支援
- 視覚機能再生研究支援
- Society 5.0 に向けた高性能計算科学研究支援及び研究者育成支援
- 若手AI研究者育成支援

★使途特定寄附金

- 新型コロナ関連研究等感染症関連の研究費支援
- 開拓研究本部における分子情報生命科学の研究促進
- 開拓研究本部における津波防災に関する研究促進
- 開拓研究本部における次世代のリキッドバイオプシーへの研究支援
- 放射光科学研究センターにおけるソフトマター構造科学のための先端計測手法及びデータ解析方法の開発に関する研究促進
- 生命医科学研究センターにおける動物の粘膜システムの賦活化の分子機序の解明と感染症対策にかかわる基礎・応用研究に関する研究促進
- 生命機能科学研究センターにおける、がんなどの生活習慣病や認知症などの精神疾患に関する研究支援など

★一般寄附金

- 「科学道」を用いた理解増進活動の展開
- 外国人研究者着任時サポート

3. 寄附金の活用報告

SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金

環境資源科学研究センター (CSRS)

私たち環境資源科学研究センター (CSRS) は、環境負荷の少ない「モノづくり」を理念に、持続可能な開発目標 (SDGs) および温室効果ガス排出ゼロを目指すパリ協定を指標とし、環境問題や食料問題の解決に資する新しい研究分野となる「環境資源科学」の確立を目指して、異分野融合研究による6つのフラッグシッププロジェクトを推進しています。

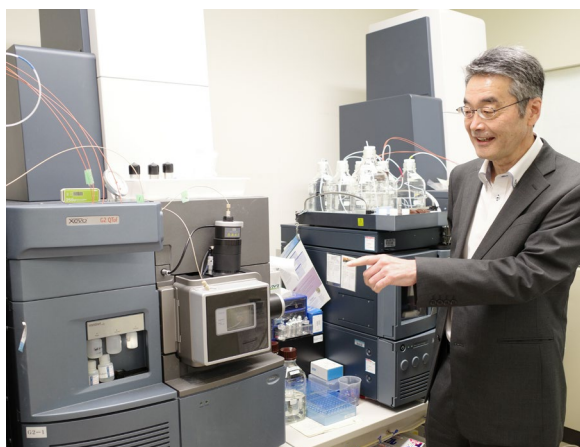
2020年度も多くの方々からご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

みなさまからご支援いただいた寄附金は、若手研究者の育成に活用させていただいています。現在、我が国の基礎研究人材、特に次世代を担う若い研究者が、世界と比して危機的状況にあります。

当センターでは、修士・博士合わせて約90名の大学院生を受け入れて、理研の研究現場で最先端の研究者たちと研究に取り組むことで、次の世代を担う高いレベルの研究者を育成することに力を入れています。引きつづきのご支援をお願いいたします。



環境資源科学研究センター長
斉藤和季



生命機能科学研究センターにおける、がんなどの生活習慣病や認知症などの精神神経疾患に関する研究支援

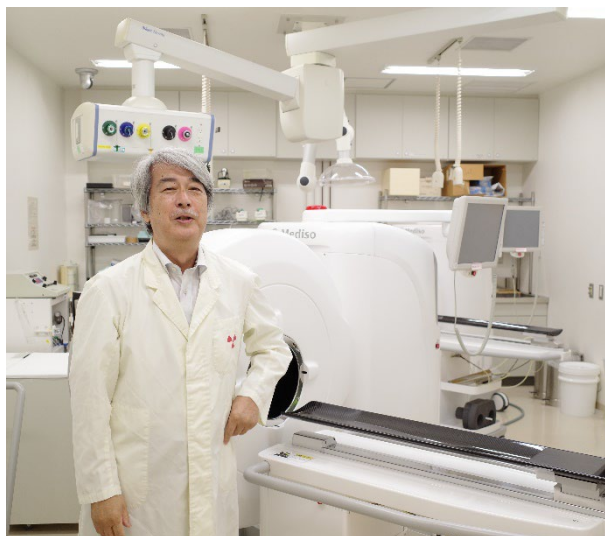
生命機能科学研究センター (BDR)
健康・病態科学研究チーム

がんなどの生活習慣病や認知症などの精神神経疾患では、症状が現れる前に生体分子の変化が生じ、病気の進行に伴ってその変化がさらに蓄積・変質していきます。

このような分子の変化を発症に至る過程の源流で捉える、病態バイオマーカーイメージングの基盤技術を開発しています。この技術により病態メカニズムを明らかにしたり、原因分子の異常を超早期に発見し先制医療に結びつけることや健康が損なわれる過程を定量化することで、医療イノベーションの礎を確立します。

皆様からいただいたご支援に心より感謝申し上げます。

いただいた寄附金は、主に認知症をはじめとした様々な疾患に対して、PET (Positron Emission Tomography) や自ら開発したGREI 及びMI-PET と名付けたイメージング装置を駆使し、生体内で働く健康状態や疾患に関連する複数の機能情報を同時に非侵襲的にイメージング解析する研究に使わせていただいております。



チームリーダー
渡辺 恭良

次世代器官再生医療に向けた基礎・応用化研究 支援寄附金

生命機能科学研究センター (BDR) 器官誘導研究チーム

本研究チームは、器官発生・再生原理を解明し、その原理を応用して次世代再生医療としての器官再生医療に向けた技術開発を進めています。

これまでに歯や毛包、外分泌腺の器官原基を再生し、生体内で機能的な器官再生を実証してきました。さらに、器官形態形成における個々の細胞の四次元的な細胞動態のイメージングにより、器官形成過程の原理の解明を目指しています。

これらの研究開発を基盤として、次世代再生医療としての器官再生医療である、毛包再生医療や歯の再生医療の実現を目指しています。

今年度も多くの方々からご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

みなさまからご支援いただいた寄附金は、一刻も早い実現に向けた研究に有効に活用させていただいております。

毛髪の再生と歯の再生ともに、臨床研究の一手手前まで来ています。引き続きのご支援をお願い申し上げます。



チームリーダー 辻 孝

4. 寄附者の皆様からのメッセージ

コロナのワクチン開発も、これからの日本の成長を支える技術も、すべては基礎研究をはじめとする地道な研究の先にあるものだと信じています。微力ながら支えたいし、一緒にがんばりたいと思う気持ちを込めて寄付をすることにしました。

SDGsを実現するには個人の努力も必要ですが、やはり大規模研究によって達成される部分も多いと思います。個人で支援できることを、理研ニュースで知りましたのでご支援させていただきました。

精神疾患を持つ当事者として、また今年還暦を迎える誕生日記念として今年も募金を行います。微力ですが研究にお使い下さい。

昨年、初めて寄付をいたしましたが、その後理研の活動内容を知って、引き続き寄付することになりました。理研を応援しています。



**皆様のメッセージが
力になります！**

たくさんのメッセージありがとうございます。

科学の基礎研究は人の生活を豊かにして行くものだと信じています。少額ですが是非研究や付随する費用に当ててください。

Please,
please do the best you can
with the hair multiplication
studies. You'll write history
and save depression and
despair

退職祝いに
ささやかながら寄付します。

ぜひ、
根治が難しいとされている
悪性度の高い白血病を一日も早く
治る病気にしていただきたいと
思います。

理化学研究所には
多くの優秀な研究者がいます。基礎研究は華やかさはありませんが、国の将来を担う根幹部分だと思っています。応援しています。

5.募集中の寄附金

次世代器官再生医療に向けた基礎・応用化研究支援寄附金

世界初のオリジナルな日本発技術である「毛髪再生」と「歯の再生」の研究成果をもとに、ヒトへの応用を目指しています。（「みんなの再生医療プロジェクト」）

- 主な用途：研究費
- 募集金額：5億円
- 募集期間：2021年2月10日～2024年3月31日

生命機能科学研究センター（BDR）
器官誘導研究チーム チームリーダー 辻 孝



SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金

植物科学研究をはじめとした異分野融合研究により、環境問題や食料問題、健康問題など様々な社会的課題の解決を目指す環境資源科学研究センターにおいて、次世代を担う研究人材を育成します。

- 主な用途：研究費、若手研究者の育成支援
- 募集金額 1億円
- 募集期間：2021年1月12日～2025年3月31日

環境資源科学研究センター（CSRS）
センター長 斉藤 和季



若手AI研究者育成支援寄附金

革新的な人工知能基盤技術を開発し、科学研究の進歩や実社会における課題解決に貢献することを目指す研究センターにおいて、世界的に不足しているAI（人工知能）関連研究者を育成します。

- 主な用途：若手研究者の支援（派遣、留学、学会参加等）
- 募集金額：2億円
- 募集期間：2019年9月1日～2025年3月31日

革新知能統合研究センター（AIP）
センター長 杉山 将



6. 寄附の特典

▶ 寄附者の御芳名を公表

ご寄附いただいた個人の氏名又は法人の社名を、寄附者ご芳名一覧として理研ウェブサイトにて公表させていただきます。

▶ RIKENメルマガの配信

プレスリリースやイベント情報、Youtube理研チャンネル最新動画などの新着情報を掲載した「[RIKENメルマガ](#)」をお送りします。

▶ 科学講演会のご案内

理研の最前線で活躍する研究者が講演する「科学講演会」の御案内をお送りします。

▶ 寄附者の会「理研を育む会」へのご入会

ご寄附いただいた皆さまを「理研を育む会」の会員にお迎えします。

※特典はご希望された方を対象としています。

▶ 税法上の優遇措置

理化学研究所への寄附金は、確定申告を行うことで、国税（所得税又は法人税）及び地方税（個人住民税）について、税法上の優遇措置を受けることができます。

★ 紺綬褒章

一定額以上の寄附者の場合、紺綬褒章の対象となります。

7.トピック

理研を育む会

- 2021度は個人3名、法人8社の方々に記念プレートを贈呈させていただきました。

●ブロンズプレート

(個人)

齊藤 和季 様
篠崎 一雄 様
他1名様

(法人)

京セラ株式会社 様
バイオテック株式会社 様
株式会社常磐植物化学研究所 様
株式会社日本高分子材料研究所 様
神津精機株式会社 様
サーモフィッシャーサイエンティフィック
株式会社 様
小日向眼科クリニック 様
他1社様

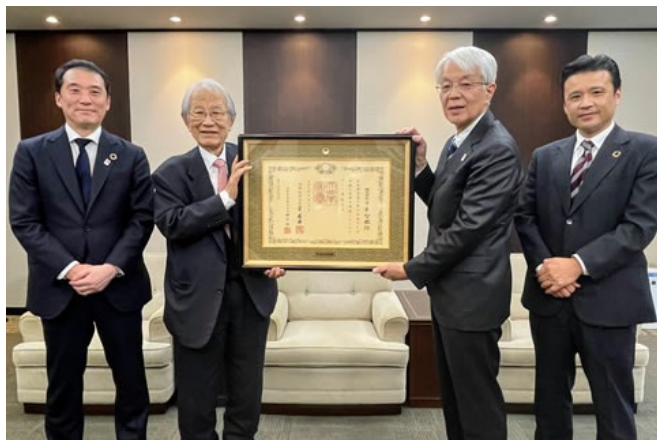


株式会社常磐植物科学研究所 様

会員称号	累計寄付額	記念プレートの種類
栄誉会員	1億円以上	ゴールド
名誉会員	1千万円以上 1億円未満	シルバー
功労会員	百万円以上 1千万円未満	ブロンズ

紺綬褒章

- 2021度は個人の方1名、法人の方1社の方々に紺綬褒章が授与されました。



株式会社りそな銀行 様

紺綬褒章の授与に際しましては、理化学研究所より特製の顕彰額を進呈させていただきます。

クラウドファンディング

- 日本最大級のクラウドファンディングサイトREADYFOR社と契約し、2022年度よりクラウドファンディングを開始します。



リサイクル募金

- 古本やCDなど、不要となったものを活用した「リサイクル募金」を2022年度から開始します。





未来を、希望を、いっしょにつくる